

琉球大学学術リポジトリ

題名に着目した読みの指導 — 題名加工による主体的読みの確立

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学教育学部附属教育実践総合センター 公開日: 2011-04-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮城, 信夫, Miyagi, Nobuo メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19044

題名に着目した読みの指導

—題名加工による主体的読みの確立—

宮城 信夫*

Guidance of reading by pay attention to title

Establishment of independent reading by title processing

Nobuo MIYAGI

1 問題の所在

文学教材においても説明的文章教材においても、共通するのは作者並びに筆者が何を伝えようとしているかということである。そのなかで、表現描写の味わいや、文章構造の工夫などについて児童は学習する。どちらの教材においても指導方法が工夫され、様々な立場から方法論が提出されており、その効果も実証されてきている。ただその指導内容は、当然の事ながら文章内容に関することであり、児童は同じ内容を繰り返し読み込む中で作者の伝えたい思いを叙述をもとに自分なりに解釈して、自己のなかに新たな作品を再構築していく。

今回は、初発の感想をもとに、作品の題名を改題していく学習を通して主題に迫ろうと考えた。これは一読後の児童の読みを信頼する立場からの提言である。おそらく児童は実生活において何度も繰り返し作品を読むという作業は余りおこなわないものと思われる。その日常の中で、題名の改題という活動を通して、もう一度作品に立ち返り、主体的に読むという作業を身につけると考えたからである。また、仲間から出された題名について討議を深める中で、これまでの主題指導とは違った形の主体性と学習意欲が喚起されるのではないかとも考えたからで

ある。以下、授業後の児童の感想をもとに、本単元の学習について考察してみたい。

2 作品のあらすじ

本単元で使用する教材は5年生の導入單元である「新しい友達」(光村図書)である。

主人公ひろの友達まりは、お父さんの都合でロンドンへ転校する。そのとき、クロッカスの球根をまりに贈る。2年後にまりが帰ってくるが、以前のまりとの違和感にひろは戸惑う。しかし友人坂本の「新しい友達と思えばいい」というアドバイスをもとに、気持ちを切り替え、まりに接しようとする。そう思ったとき、まりがひろの家に訪れ、クロッカスを見つける。まりもクロッカスを大切にしていこうと聞き、新しいまりとの友情がいつまでも変わらないことを知る。

5学年の導入單元であり、場面転換や心情描写、会話文と心内語、形容詞と副詞の効果など、指導事項は数多くある。しかし導入單元で詰め込み的な指導を中心に行くと、1年間の国語学習活動が重くなってしまう。では児童の感想をもとに、授業内容を振り返ってみたい。

*琉球大学教育学部附属小学校

3 授業の経過と考察

下記に示すのは、一読後の授業後の全員の感想である。

★疑問に思うのはP11の9行目から10行目です。なぜかという、本当はまた学校に戻ってきたのに、転校生のようなというのはなぜかなって思いました。

★新しい友達を呼んで2年間友達がロンドンや外国に行っていたので自分は半年で忘れるのにこの二人はよく覚えているなと思いました。なのですごい仲がいいんだな思いました。

★友達とはいいなあと感じました。友達がいると約束してないのに遊んでくれるし、友達と笑ったりしゃべったりいろいろできるから。

★新しいまりちゃん、前のまりちゃんといったところがおもしろい。一人のまりちゃんなのに2人のまりちゃんと思っただころがおもしろい。

★僕だったら、ロンドンに行くというのは、1週間前にいます。何でかという1週間前にいった方がいいと思うからです。

★最初お別れ会にまりちゃん、まりちゃんといわれるのがうれしそうだったというのが変。お別れするのにうれしそうだったら相手が変と思っているから。あとまりが帰ってきてはじめての何日かはざわざわしていたって書いてあるけどだんだんおさまってきたら自分も遊ぶ。

★坂本君って人がきっかけで真理ちゃんと友達になったのが、私はおもしろいと思っただ。あと自分は真理ちゃんが別人みたいだなって思っただころが一番おもしろいとこだし、続きも読みたいと思っただ。

★まりちゃんとひろが再会したところが一番いいなと思いました。どうして仲がよかったのに悪くなったのが不思議に思いました。私だったらイギリスから帰ってきて遊ぶのになあとおもいました。

★不思議に思っただころが一つあります。

それはひろは、まりちゃんのどのようなところに変な気持ちになったのかなというところでは。

なぜなら友達も成長しているから自分もがんばろうと思うのに、なぜ変な気持ちになるのかな？

★主人公は優しい人だとおもいました。私なら友達とかが、転校したらいつも泣いていて過ごしているかもしれない。ひろは強いし、やさしいなって思った。それと坂本君はひろのことがすきなのかも…。

★まりちゃんと別れて二人はちゃんと手紙を書きあっていたので友情を感じました。黄色いクロッカスも花が咲いていて、あったときはとてもうれしそうでした。

★この物語はとてもいい。友達との話でこんなストーリーものは初めてみました。読んでみていい話だなあと思った。家に帰ってたまに黙読するときがありました。おもしろくてとても気に入りました。次の単元でどんな話が出るのか楽しみです。

★不思議に思っただのはひろがまりちゃんを自分が知っているまりちゃんじゃないと思っただころです。理由は友達なのになぜそう思っただかがわからないところでは。

★友だちっていいなと思いました。

★P9の1行目が「まりちゃんがいなくなるとすうすうするような感じがした」というところがなぜそう思っただか不思議に思っただ。

★P11の9行目の千葉先生というのがおもしろかった。あとP6のランチルームでお別れ会をするのが不思議だった。あと、ひろの顔がおばさんみたいで坂本がおじさんの顔にちょっと見えたのがおもしろかった。

★まりちゃんとお別れの時に、クロッカスをあげて育ててというところが友達思いだなと思いました。お別れの時は寂しいけどまたあえたときはうれしそうに楽しそうだった。まりちゃんがいなくて、

- みんなに心配されていていいなと思いました。
- ★私はこの物語を読んでいいと思ったところはまりちゃんが帰ってきたところです。私も長い間あえなかつたら悲しいから帰ってくるとうれいからです。
 - ★なぜ題名を「新しい友達」にしたのだろう。もし自分だったらほかの題名にするのに。
 - ★ひろがまりちゃんがいなくなり帰ってきたとき「変な感じがする」といった。まりちゃんもひろと同じく感じてなんでかな、どうしてかな、帰ってきてうれしいのに、変な感じがするってなんで？っておもいました。最後は二人がうち解けてよかったです。「新しい友達」っていうのもちょっといいかもしれないねっていうことで古い友達と新しい友達、同じ友達なのにいい言い方だと思います
 - ★不思議に思ったところは、なぜひろは、まりちゃんにクロッカスの球根をわたしたのかなって思いました。
 - ★クロッカスをあげて育ててクロッカスと一緒に写っている写真をあげたらそれを捨てないで机に飾っていたのがとてもいいと思いました。私もまりちゃんだったらうれしいと思います。
 - ★気に入った場面はまりちゃんが帰国した時のひろとの再会の場面です。もうあえないと思ったのにまたあえたのですごくうれしいと思ったからです
 - ★まりちゃんといわれてうれしそうに見えたのかなっておもいました。転校するのにうれしそうってどういうことかが、気になります。お父さんの都合で2年ぶりに帰ってきたのに、うれしくないという気持ちが何となくわかる気がしました。
 - ★「まりちゃん」がお父さんの都合でロンドンに行っていたけど帰ってきてみんなでお別れ会をしてみんなはとってもうれしい気持ちだった。
 - ★新しい友達を呼んで坂本君がキーパーソンになっているけど、自分だったらお母

さんにします。理由はいきなりでできた坂本君がいうとおかしいからです。あとロンドンとイギリスがでてきているからおかしいと思う。

- ★僕の感想は、とてもよい話だけど、ランチルームでお別れ会をしてまりちゃん、まりちゃんといわれてうれしそうに見えたっていつているけど、お別れ会なのに、本当にうれしいのかなあと思った。10ページもいい場面でした。その場面に信頼関係を感じたからです。
- ★お別れ会をすると悲しいのになぜまりちゃんとひろは泣かなかったのだろう。それが知りたい。心の中でつながついたりしたのかなと思いました。たくさんの笑顔があっていたので、おもしろかったです。
- ★ロンドンに行ったまりちゃんが帰ってきてからうれしいので顔が自然に笑っていたのだと思いました。そして坂本君の言葉は意外といい言葉だったと思います
- ★新しい友達でひろとまりちゃんは友達だったのにお父さんの仕事の都合でイギリスに行ってしまうとひろちゃんと真理ちゃんはかわいそうだった。でも2年後にあえてよかった。あと、友達は大切だと思った。
- ★まりちゃんが学校にいるときまでとても仲がよかったのに、ロンドンにまりちゃんがいてもずっと手紙を送り続けたからすごいと思う。それでロンドンから帰ってきてとても仲がいい。僕だったらとても仲のいい友達が帰ってきたら少し仲が悪くなってしまう。
- ★まりちゃんが最初のページのかぎ括弧で言った言葉はどういう感じで言ったのかなって思いました。13ページの4行目で坂本君がひろをよんで並んで歩きながら言った言葉はひろとまりちゃんのことを抜きにしたような感じがしました。そして優しいなあと思いました。
- ★まりちゃんが帰ってきたとき、ひろはま

りちゃんに話しづらくて気持ちが重たかったけど、坂本君が声をかけてくれて気持ちが軽くなったから、坂本君が優しいと思う。

★まりちゃんがロンドンに行って帰ってきたら、前までとっても仲が良かったのに、ひろとまりちゃんはあまり話をしなくなってしまった。ふつうは2年もあってない友達と久しぶりにあったのに、何であまり話さないのかなって不思議に思いました。でも二人とも同じ理由であまり話していないということがわかりました。それがわかってとてもおもしろかったです。なので黙っていないで最初からいえば良かっただけだったなあって思いました。

★今までずっと友達だったと思っていたのに、イギリスからまりちゃんが帰ってきたらなぜか友達じゃないような気がしてきました。よいと思ったのは、14ページから15ページが良い、好きと思いました。

★自分が一番好きなページは10ページの1行目から11行目までです。ここでまりちゃんが戻ってきて、また友達になれるシーンだからです。

【考察】

一読後の感想の中にも作品の核となる文言がちりばめられていることがわかる。こうした児童にどのようにして読み深めていくか、指導事項を主体的に獲得させていくか、作品の新たな側面を見つけていくか、その過程でどのように自己の中で再構築させるかといったことが課題となる。その後、児童から集まった題名は次のようなものであった。

【みんなが考えた題名とその理由】

「友達」

友達の思いがこもった話だから友達という題名がいいと思う。

「クロッカス」

プレゼントのあげたのがクロッカスだからひろがまりにあげたものだからお別れの時にクロッカスをあげて、もっと仲良くなったから

「友達は大切」

友達がいなくなると遊べないし、楽しくないから

「まりちゃん」

主人公がまりちゃんだから

「かわっちゃったまりちゃん」

ロンドンに行って変わっているから

「やっぱり友達」

イギリスに行ってもカードを送るし、帰ってきて同じことを思っていたというのがあったので

「離れても友達」

- ・離れてても手紙とか送ってくれているから
- ・ロンドンに行っても手紙を送り続けているから
- ・いつも一緒だったけど、離れることになったけど、クロッカスをまりちゃんだと思ってその題名にした。

「お別れと再会」

- ・分かれたり再会したりするから
- ・最初は別れたけど、あとからあえたから。

「古いまりちゃんと新しい真理ちゃん」

新しい真理ちゃんがいるなら古い真理ちゃんもいる

まりちゃんが新しいのと前からのまりちゃんが2人が転校してくるから

「おわかれ」

最初にお別れするから題名はお別れがいいと思う

「黄色いクロッカス」

まりちゃんが友達から受け取った大事な黄色いクロッカスだから。

「友達との再会」

友達とまた会えてうれしそうだから

「ふたりのまりちゃん」

前からのまりちゃんと新しいまりちゃんが

帰ってきたような感じとっていたのでこの題名でもいいかな。

「帰ってきた友達」

ロンドンに行っていた友達が2年後に帰ってきたから。

「帰ってきたまりちゃん」

イギリスから帰ってきてどうしてか仲がよくなったのに、ちょっと悪くなったから。

まりちゃんがロンドンにいて、帰ってくる話だから。

「まりちゃんとクロッカス」

ロンドンに行く前にまりちゃんにあげたものがクロッカスの花だから。

「まりちゃんが帰ってきた」

一回別れたのに、また帰ってきたから。

「ずっと友達」

一度他人のようになった2人がまた仲よくなっていったからです。ロンドンから帰ってきたまりちゃんと新しいまりちゃんと友達になったから。

「おかえり」

まりちゃんがロンドンから帰ってくる話だからです。

「お別れと再会」

お別れと再会がきちんと書いてあるから。

「大切な親友」

まりが学校に戻ってきて、少し様子が悪くなってきてけんかをして、大切な親友というのわかる。

「気持ちの変わり」

まりちゃんがイギリスから帰ってきたら、2人の気持ちが変わり、見方が変わるから。

「見えないきずな」

どこに行っても切れないひろとまりちゃんのきずなを感じたから。

「友達」

ロンドンに行った友達が帰った。友達が帰ってくる話だから。

「優しい友達」

坂本君が声をかけてくれたまりちゃんが、ロンドンから帰ってきてひろの家に一番にきたり、みんなにやさしさがあるから。

「親友」

離れていても、手紙を交換して友情を感じたから。

【考察】

どの題名からも作品を一読して作品の全体像をつかんでいることがわかる。さらに作品内で重要な役割を果たす「クロッカス」を取り入れたり、また友情の大切さや絆、古いまりちゃん新しいまりちゃんなど、十分作品内容を読みとっていることがわかる。このような実態を踏まえて題名について討論的な授業を試みた。

1. 教材名 「新しい友達」

2. 教材観

2年間離れていた友達と再会する物語である。友達との再会のなかで、二人の心の揺れ動きを様々なレトリックを用いて、細やかに描いている。周囲の存在も効果的である。児童も友達と日々接しており、身近に感じる内容といって良い。陳腐感はあるものの、外国から帰ってきたという設定で非日常感も醸し出している。プレゼントとして渡したクロッカスも友情を象徴する上で効果的に描かれている。

プロットは単純で、その分人物の心情の変化は捉え易い。深まりという点では物足りなさが残る作品といえる。そのため、主題や心情の変化を指導し、後の学習につなげるという点に本教材の価値が見いだせる。

3. 指導観

5、6年の目標は目的に応じて文章を読んだり書いたりすることである。文学的文章においては内容把握と作者の意図を読みとる作業が重要になる。本教材では特に主題の読みとりに重点を置きたい。その上で人物の心情の変化を捉える学習と位置づけたい。

主題の読みとりにおいては、作者が伝えたかったことという問いで学習を進めると、学びが躓く恐れがある。テキストコードの読み解きに重点が置かれると、児童の学習意欲の低下を招きやすいのである。

そこで、題名を手がかりに、題名を加工する

活動を通してキーワードを抜き出し、そこから言葉をつないで主題に迫っていきたい。こうした学習を元に、説明的文章の要旨、要約へと学習をつなげていききたい。
展開

4、本時
目標

児童が加工した題名に意図を持たせつつ、全員の題名を絞り込み、文章を創り上げていく

展開の核	障害が予想されるもの	関わりを深める教師の働きかけ
1 提示された題名について善し悪しを判断し、叙述に即した説得力のある理由を述べる	・自分の考えに固執する ・叙述から離れた意見を述べる	・叙述に即した意見を引き出す ・構造的な板書による価値付けを行う
2 論点をかみ合わせながら意見の交流を行う	・飛躍した意見や論点をすり替えて意見を述べる	・ファシリテーター的に意見を集約していく
3 題名をつなぎ、主題に迫る文章を創る	・キーワードをもとに文章を書くことができない	・教材と向き合いつつ、文章を考えさせる

この授業後、次のような感想がもたらされた。

4/17児童の感想

C-1 新しい友達の意味がわからなくなった。Kさんは題名にあった意見だった。	C-2 題名を考えた。代表の題名を作った。はなれても友達、二人の絆という題もあがった。	C-3 題名の勉強をした。僕は離れても友達にした。Kを見習いたい。いろいろ発表したから。	C-4 わかったことは、3つの題名をあわせたら1個のいい題名になるということがわかった。	C-5 意見を上手に言えたから良かったです。次もがんばりたいです。	C-6 最後は合体していろいろなことを学んだ。
C-7 3つの題名が選ばれた。見えない絆がいい。Mさんの合体がいいと思った。	C-8 3個良かったからくっつけるのは大変だった。見えない絆を選んだが、最後のものは良かった。	C-9 私は「離れても友達」にした。表紙に選ばれたらいいのと思った。	C-10 みんなで意見を出し合いました。すべて理由がいたので、合体させました。正直疲れたけど楽しかったです。	C-11 見えない絆でつながっている離れても友達のまりちゃんです。候補に入れるか考えてください。	C-12 決めたけど、残りの二つを聞いた時、迷った。3つを合体していい題名ができた。
C-13 題名はそのままの方がいい。変えようとしてもこれ以上いいのはでないと思う。	C-14 僕は離れても友達にしたけど、みんなは全然違うことを考えていて少し驚いた。	C-15 自分が書いたものがあるとは思わなかったのびっくりした。本当になると思わなかった。	C-16 大事なところをつなげること、大きいことを合体させること、これを元にもっと作ってみたいです。	C-17 題名を作るのが楽しかった。その文章を創るのも楽しい。ひろとまりちゃんが題名に入っている。	C18 離れても友達という証拠にクロッカスをあげて見えない絆がつながって、新しいまりちゃんが来た。
C-19 私は離れても友達にしました。友達の意見を聞いて、おもしろく考える人もいて楽しかった。	C-20 絶対にくっつけない方がいい。おかしいから。あまりヒロは大喜びしていないと思う。	C-21 みんなよく考えるなあ、こんなものもあるのかって思える題名で、どの題名もすてきでした。	C-22 題名は合体させて「二人の友達の絆」がいいと思う。まりとヒロの絆がよく表せるからです。	C-23 つなげて文章にしたのが面白かった。Sさんの意見が良かった。	C-24 みんなに言えたのでうれしい。次も楽しみ。質問や手紙を書いてみたい。

C-25 選ぶのにと ても迷いま した。どれ もびったり 。Mさんの合 体という意 見がすごく 良いアイデ アでした。 難しかった けど、すご いことに作 ったものと 実際の作品 の話のだい じが同じで びっくりし ました。	C-26 ひろとまり は見えな い絆でつな がっている 。ととも仲 良しという 事がわか った。	C-27 なぜ新しい 友達にした のか不思議 に思った。 ほかにもい い題名があ るのに。	C-28 いろいろ意 見が出てび っくりした。 Hは理由も いっぱいい えてすごい と思った。
	C-33 僕が考えて いた以上に 考えている のでみんな すごい。次 は今日より いろんな事 を考えて発 表したい。	C-34 みんなのい ろんな意見 がでて面白 かったです。 またこうい う事をやり たいです。	C-35 Nさんのも のがいい。 離れても忘 れていない と書いてあ る。いつで も友達と思 いました。

C-29 二人のまり ちゃんが いいと思った。 意見を聞いて、 いろんな事 わかった。	C-30 3つの題名 をあわせて 文章を創る ことになっ て、良かった と思った。	C-31 3つとも もいい題名 だった。合 体させるの は難しかった けど、できて 良かった。	C-32 発表できて 良かった。 作品を併せ て楽しかった。
C-36 二人のまり ちゃんが絶 対にいい。 Yが言った 新しい友達 と前から知 っているまり ちゃんって 書いてある から。	C-37 題名を合体 させるのが 難しかった。 一人では できないけど、 みんなでや ると意見が たくさん出 て面白かつ た。	C-38 「二人のまり ちゃん」を 選んだ。前 からのまり ちゃんと新 しいまり ちゃんがい るからです。	

【考察】

C-1の「意味がわからなくなった」という感想は、児童の中に混乱が起こっていることを示している。これまでのわかったつもりの読みが、少なくとも崩壊しているのである。そこで「離れても友達」や「二人の絆」などが支持されている。「二人のまりちゃん」なども、作品の中心に迫るものであり、読みの深まりがわかる。さらにC-13のように「題名は変えない方がいい」という考えまで提出されている。議論を経て、やはり作者の題名が一番だという結論に達

しているのである。このように話し合いを通して、様々な考えに触発され、自己の中で考えを發酵させている様子うかがえる。

ところで、「みんないろんな意見が言えてすごい」「色々意見が出てびっくりした」「みんなよく考えるなあ」等と仲間のすばらしさを訴え、賞賛する感想も目立つ。このように子どもの発言を中心に授業を組織立てることにより、仲間と学び合うことの価値を実感したり、仲間の考えに対して様々な意見を持つたりすることがわかった。

4/18児童の感想

C-1 まりちゃんが帰ってくるまで思い出したいな事を文に出している。題はクロッカスでもいい。	C-2 友達っていいなと思いました。まりちゃんが二人いるように思わせた坂本君はすごいと思った。	C-3 題名は黄色のクロッカスでもいい。けど新しい友達でもいい。Tさんの感想がすばらしいと思った。
C-7 本当はまりちゃんもひろと同じ事を思っていた。やっぱり友達で絆があるんだなあと思った。	C-8 坂本君は本当に2人のために考えてくれたのか知りたいです。坂本君がいなければ仲良くなれなかった。	C-9 何でひろちゃんにはまりちゃんのことを変な気持ちでしてしまうのかなと思った。題名は黄色いクロッカスでよい。

C-4 クロッカスの花言葉とこの新しい友達の文が関係していることがわかりました。	C-5 (欠席)	C-6 坂本君はなぜ新しい友達と言ったのか、みんなの前でも友達って言えばいいのに。友達の大切さがわかった。
C-10 なぜクロッカスだろうと思った。花言葉でよくわかった。クロッカスのように「人を信じる」事がわかった。	C-11 クロッカスはこの物語に合っているし、それを選んだ作者すごいと思った。花言葉にも興味を持った。	C-12 クロッカスを渡した理由がわかりました。本当に友達思いで優しい気持ちがあるんだなあと感じました。

C-13 リレー読みをしたのでびっくりした。楽しい勉強だ。またいっぱいやりたい。	C-14 坂本君が優しいと言うこと。まりちゃんのために新しい友達とを考えてくれたからです。	C-15 友達はいいなと思った。坂本君は優しいなと思った。	C-16 クロッカスがよくでている訳でもないけど、花言葉がストーリーになっているから題名でもいいなと思った。	C-17 元気にいっぱい言いたいぞ。そして間違えずに発表したいぞ	C-18 前のまりちゃんでは少し心配されたけど、新しいまりちゃんも心配されてみんなすごく仲がいいと思った。
C-19 ロンドンに行くとき、なぜ泣かないのか、不思議。ひろも泣かなかった。不思議だ。	C-20 まりちゃんとお別れの時なのに泣かないかな、ほかのクラスメイトは泣いたのに悲しくないのかな。	C-21 友達の絆はいいと思った。ひろはまりが変な感じがするといった。あつていなくて緊張したのか。よく考えた。	C-22 坂本君が言った言葉でひろがびっくりしたのかと思った。クロッカスを選んだ理由がわかったような気がした。	C-23 クロッカスはこの話に似合うな。仲良くなって良かった。本読みの上手な子がいっぱいいた。	C-24 一度離れた友達でも大切に思っでずっと友達でいるとまたあえるんだなあと思いました。

C-25 何となく、ヒロがクロッカスをあげた理由がわかった。花言葉からこの物語を作ったのかと思った。	C-26 クロッカスのことをやっていたので、面白かったです。またやりたいです。	C-27 なぜ外国に行ったか知りたい。国内でも手紙のやりとりができるのに外国にしたからです。	C-28 まりちゃんがロンドンに行ってもずっと心がつながっているんだな、いい話だと思った。	C-29 友達のことを心配していたひろが優しい。また二人の絆が深まる思った。	C-30 (欠席)	C-31 クロッカスの花言葉の意味がとてもあっている。クロッカスをあげた意味がわかった。	C-32 とってもクロッカスが似合っていた。花言葉は信頼とかいっぱいあった。
	C-33 (欠席)	C-34 何で2年前の話をしているのだろうと思った。教室がすうすうすうという気はわかります。	C-35 (欠席)	C-36 黄色のクロッカスに深い意味があるのを知ってびっくり。あなたは待っているという意味。すごい。	C-37 話しにこんな意味が入っていてとてもびっくりした。ヒロはこんなに細かく考えてクロッカスを選んだのがすごい。	C-38 クロッカスがでてきたんだろうと思っていました。クロッカスにはいろんな意味がありました。	

【考察】

作品の中で、友達との絆や友情の大切さを作品が表していることは、仲間の考えた題名からすぐに読みとれた。そのなかで、「クロッカス」や「新しい友達」と告げた坂本君について意見が集まったのである。なぜ題名を仲間は「クロッカス」としたのか。新たな問いが子どもたちの中に生まれた。そこでクロッカスについて調べていく過程で、その花言葉が「信頼」とか「人

を信じる」という意味が込められていることを突き止めた。そして作者の「クロッカス」に込めた思いや意図を読みとり、作品に新しい意味を付与していったのである。そして「新しい友達」は誰と誰が友達になったのか、そのなかで作品の中心となる人物は誰なのかという問いを持って、本時は終了した。

その次の時間の感想は以下の通りである。

4/23児童の感想

C-1 今日僕は話者と地の文と心内語がわかった。よくわかったので、どんどん国語がたのしくなってきた。	C-2 ザリガニの詩は中年太りのおじさんと思ったけど、違うのでびっくりした。	C-3 地の文ということです。みんなが答えていく中でわかってきました。
C-7 心の言葉を心内語ということを知った。	C-8 ザリガニを72歳のおばあちゃん書いているのでびっくり。地の文を初めて聞きました。	C-9 会話文、地の文、作者、いろいろわかった。ザリガニの72歳と聞いてびっくり。
C-13 地の文ということを知った。何で地の文なのか疑問に思っています。	C-14 Aさんがなぜこんな詩を書いたのか知りたいです。	C-15 作者が72歳としてびっくり。Aさんは生きているのかな。
C-19 今日は主人公や主役、中心人物、対訳、いろいろわかり楽しかった。	C-20 いろいろな言葉の意味を知って、心内語など、楽しかった。	C-21 作者が72歳と聞いてびっくりです。何を考えて書いたのか？私もこんな風を書いてみたい。

C-4 (欠席)	C-5 難しい言葉とかいっぱいあったので、次は家で勉強したいです。	C-6 意味もわかってノートも書いた。心の中の言葉も勉強になった。ザリガニの詩は疑問に思った。
C-10 次はいろんな話者を知りたい。いろんな本を注意して読み、地の文をよくみたいと思った。	C-11 12歳の文学を書いている。地の文や心内語をマスターして大賞を取りたい。あさのあつこについて知りたい。	C-12 (欠席)
C-16 Aさんはどう思うでザリガニを書いたのか。	C-17 筆者などのことは勉強になったけど、何でザリガニなのかと思つた。	C-18 子供の頃のことを詩にするとは思わなかった。僕は小学生だと思つた。
C-22 ザリガニの作者は小学生だと思つていたのに、72歳と知ってびっくりしました。	C-23 作者、筆者、地の文、心内語を学んだ。難しいのでもっと勉強したい。	C-24 いろいろな言葉の意味を知って面白かった。読むときは読みやすくなると思う。

C-25 対役主役などの言葉を知って面白かった。作者と話者の違いが面白かった。	C-26 (欠席)	C-27 わかったことは話者です。意味を知ってもっと国語を楽しみたいです。	C-28 教授業で知りたいのは、話者の意味を知りたいと思いました。
	C-33 文にはいろいろなことが隠されていて、それを見つけてるのがとても楽しい。文によっていろいろなことを考える。	C-34 難しい語の意味がわかった。「ザリガニ」を小学生と聞いたけど、72歳と聞いてびっくりした。	C-35 いろいろなことを教わった。文を見分けるのは難しかったけどわかったけど、これからは見分けて文を読もう。

C-29 地の文や心内語、話者など新しい言葉を教えてもらった。	C-30 会話文と地の文の事を知って72歳が書いたことを思えない文もあった。	C-31 会話文と地の文の違いが、クイズをしたらよくわかった。	C-32 心内語という言葉は心の中の言葉という単純な意味だった。
C-36 (欠席)	C-37 見た目はとても子供っぽくて元気があるけど、作つた人は72歳と聞いてびっくりした。	C-38 初めて知った言葉もあるし、習っていない言葉もいっぱいありました。	

【考察】

「ざりがに」という高齢の方の書いた詩をもとに、話者と作者の違いから視点人物、心内語と会話文の違い、主人公と対役など、「新しい

友達」を読み解く上で必要となる語句を学習した。児童は先の授業での問いがあるので、意欲的に学習に取り組んだ。その上でもう一度題名は何がふさわしいのか議論をした。

5/1児童の感想

C-1 前のまりちゃんのことを調べて、どんどん新しい友達がおもしろくなってきた。	C-2 クロッカスの絵を描いたりして面白かったです。	C-3 国語の授業はいろいろなものを調べていろいろなことがわかった。	C-4 やっぱり題名は新しい友達が一番いい。	C-5 楽しかったです。理由はクロッカスの絵を描いたのが楽しかったです。	C-6 人の話を聞いてみんないいことを言っていた。
C-7 みんなクロッカスの想像図が上手でした。	C-8 ひまわりの花言葉は面白かった。クロッカスの花言葉はどんなのか知りたい。	C-9 初めて国語辞典を調べて面白かったです。	C-10 前のまりちゃんと新しいまりちゃんについて調べて面白かったです。	C-11 クロッカスの花を想像するのが楽しかった。	C-12 作者はどうして新しい友達にしたのか、意見を聞いてわかってきました。
C-13 楽しくてもっと授業を受けたい。先生ともっと授業をしたい。	C-14 クロッカスには3つの名前があって驚きました。	C-15 クロッカスの花を想像した。クロッカスの花は小さいと思った。	C-16 クロッカスの花言葉をパソコンで調べたい。	C-17 今日はクロッカスの勉強が一番楽しかったです。	C-18 クロッカスを詳しく調べてよくわかった。
C-19 今日はクロッカスの絵を描けて面白かった。	C-20 なぜクロッカスなのだろう、ほかの花でもいいのに。	C-21 クロッカスの花を想像した。クロッカスの花言葉は想像で「友情」だと思う。	C-22 花言葉を調べるのが楽しみです。	C-23 Tさんが辞典を調べるのが早くてすごいなと思った。	C-24 クロッカスの絵を描いたから、楽しんで授業ができたのが良かった。

C-25 クロッカスの花言葉はどんなかなと思った。	C-26 今日はクロッカスの勉強が一番楽しかったです。	C-27 発表するとき、うまくいくか心配だったが大丈夫だった。	C-28 クロッカスから広がっていくのが楽しかった。	C-29 作者のつけた題名について考えた。人の意見を聞くと考えが変わった。	C-30 いろいろなまりちゃんのことを勉強することができた。	C-31 いろんな新しいまりちゃん、前からのまりちゃんのことを調べて良かった。	C-32 今日は発表できなかった。悔しい。
	C-33 僕はみんなほど考えきれないので、みんなすごいと思った。	C-34 クロッカスの事をみんなでいろいろ考えるのがとても楽しかったです。	C-35 Rさんの意見がいい。次から僕もRさんみたいに意見を言えるようになりたい。	C-36 (欠席)	C-37 まりちゃんのいろんな事を出したりして楽しかった。次の国語も楽しみます。	C-38 (欠席)	

5 結論

5月1日の感想から、児童が学習に対して意欲的に取り組んでいることが伺える。特にC3、C13やC37などは、国語という教科に対して学習意欲が強く刺激されていることがわかる。ただC2やC5に見られるように、クロッカスの絵を描くことに楽しさを見出している児童もいるため、国語科としての学びをさらに強く構築していく必要があることがわかった。

総じて言えば、題名を変えていく指導から内容

理解に入り、その後内容を読み解くための国語的な用語や指導事項を押さえていくという手法は、児童の学習意欲をある程度刺激し、仲間との学び合いに価値を認め、それが原動力となって教科に対する学習意欲も向上することがわかった。今後は絵を描いたり、クロッカスなどに見られる用語の調べ活動など、学習に変化をもたらす事に対しては有効であるものの、教科から離れた学習に陥らないような配慮や単元の組み立て方などに工夫が必要であることが明らかとなった。